



日本共産党 中野区議会議員 浦野さとみの区政報告

# ほっこり通信 No.89

何でも無料生活相談実施中  
e-mail: urano@jcp-seven.jp  
携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ: <http://urano-satomi.jp>  
浦野さとみ 検索  
●Twitter: @urano\_satomi  
●Facebook: 浦野さとみ



聞かせて、  
あなたのこと、  
街のこと



## コロナ禍の中 いのちとくらしを守る区政を



中野区議会定例会が6月におこなわれました。これまでにお寄せいただいた声をもとに日本共産党議員団を代表し、本会議での一般質問に立ちました。区政において、新型コロナウイルス感染症の対策をすすめるにあたっては、①地方自治の理念に沿って、住民の福祉増進の立場でその責任を果たすこと、②区民のいのちと健康・くらしを絶対に守るという姿勢で区政運営にあたること、③ジェンダー平等の視点で一つ一つの課題の解決に力を尽くしていくことが重要であると指摘。区からの重要な答弁もあり、その後、改善が図られたこと、実現できたこと、今後の課題などを以下、ご紹介致します。



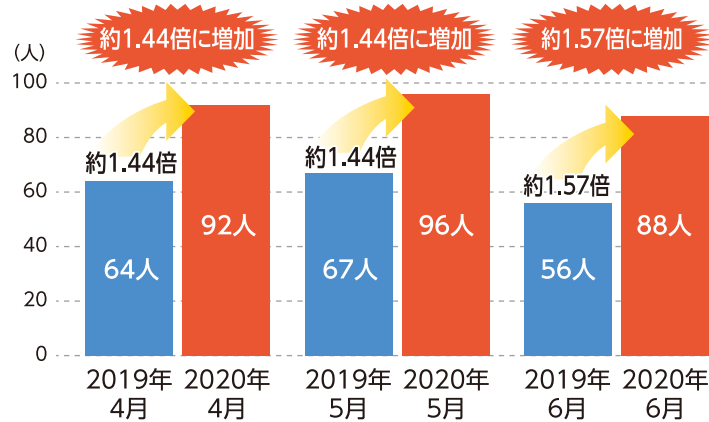
▲本会議質問の様子

## 仕事を失う方が急増

新型コロナウイルスの影響で解雇や雇い止めが増え続けています。求人数も過去最大のマイナス幅となり、完全失業率も悪化しています。仕事を失うことは明日からの生活に直結します。生活相談でも、こうした方が非常に増えています。この状況のもとで、住民税や国民健康保険料の納付通知が送付されています。中野区に対し、生活再建の視点での支援が重要であることをあらためて質しました。

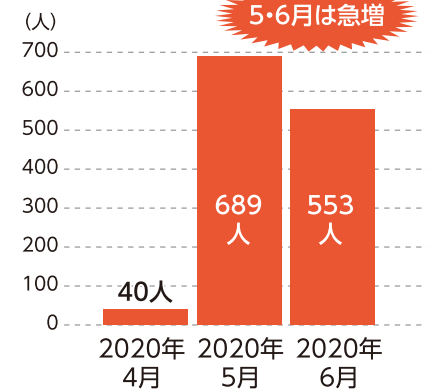
例えば..

### ■中野区での生活保護の申請件数



例えば..

### ■住居確保給付金(家賃補助)の申請件数



## 今後の財政運営について

一見直しとともに、区民生活を支える大胆な支援を

経済面での影響は、リーマンショック時以上になるとも言われています。例えば、中野駅周辺の大型開発や現体育館の解体時期とそれに伴う新区役所整備などの時期は再検討すべきと考えます。

一方、区民のくらしが本当に厳しくなる中で、区民生活を支える大胆な支援も急務です。中野区独自の給付金、東京都の協力金や国の持続化給付金のいずれも対象とならない商店への支援なども提案しました。

今議会で  
一歩前進

### 当事者・現場の声を区政へ

- 中野区独自の介護現場への支援 (感染症対策に必要な物品購入費補助)
- 医療的ケア児の在宅レスパイト事業 利用者の実態把握
- 各支援制度の積極的な情報発信と周知



### 提案 子どもたちのケア、学びの保障を

- 状況を丁寧に把握し、あらゆる知恵と力を
- 少人数学級での対応を (教職員の加配、空き教室・校舎の活用を)
- 実態を踏まえ、学校再開後の授業のあり方・教育課程は柔軟な対応を

